

2002年3月20日
株式会社テクノウイング

インターネットによる次世代カレンダー・システム
『M1』の最新版を販売開始

「CRMシステム」や「企業情報ポータル」の構築に最適

株式会社テクノウイング（本社：東京都・港区、代表取締役社長：田村 一郎）は、インターネット経由で多数のユーザがカレンダーを作成・共有できるシステム『M1』（エムワン）の機能を大幅に強化し、3月25日より販売を開始いたします。

『M1』は、企業から個人まで、インターネットを利用するユーザすべてを対象とし、個人別・グループ別といった様々な分類によるカレンダーを何百枚も作成・共有できるほか、官公庁や企業のイベント情報なども地域別・カテゴリ別のカレンダーに表示して多数のユーザに配信することができる、まさに次世代のカレンダー・システムです。

特に、インターネットを使った会員制のネット・ビジネスを実施している企業においては、顧客との間の日常的・継続的なコミュニケーション手段として、このカレンダー・システムを使った情報提供サービスが大きな効果を発揮します。昨今、ますます重要性が高まっている「CRM」（カスタマー・リレーションシップ・マネジメント）を実現するうえでも極めて有効です。

また、企業内のスケジュール管理システムとしても十分な機能を備えており、従来のグループウェアと比べて導入の容易さ、カレンダーの操作性に優れているほか、1000人以上の企業や団体でも導入できるシステムの拡張性が大きな特徴です。前述のイベント情報配信機能と組み合わせれば、今後さまざまな企業で構築が進むと予測される「企業情報ポータル」（EIP）のプラットフォームとして最適です。

今回発売する最新版『M1バージョン1.6』は、様々なアイコンを使ってカレンダーの情報を表示できるようにするなど、グラフィック機能の充実によりエンドユーザの操作性を大幅に向上させたほか、インターネットを使った情報配信システムとしての利便性を飛躍的に高めるために、カレンダーの階層化機能や、イベント情報のカレンダーへの取り込み機能など、他社製品では実現できない優れた機能を数多く盛り込みました。

1. 『M1』の主な特徴

『M1』は、以下に挙げるような特徴を持っています。

- カレンダーを使った情報管理&コミュニケーション機能

- ・ 個人のスケジュールだけでなく、グループや企業内、あるいは外部からの様々な情報（イベント情報など）を含めて、カレンダーによる情報の作成・表示・管理が簡単に行えます。
- ・ 個々のユーザが自由に何枚でもカレンダーを作成して、特定のユーザやグループとの間で情報を共有することができます。これにより、メールを使わずにコミュニケーションをとることも可能になります。
- ・ カテゴリー別・グループ別などに分けてカレンダーを作成し、複数のカレンダーの中から必要なものだけを選んで、その情報を個人のカレンダーに重ね合わせて表示することができます。
- ・ カレンダーに情報を登録した時点、あるいは登録時に指定した時間に、メールでイベント情報やスケジュールを通知するリマインダー機能を搭載しています。

- モバイル対応

- ・ パソコンだけでなく携帯電話（i-mode、J-sky、EZ-Web など）からでも、カレンダーを利用できます。携帯電話からスケジュールの登録や変更を行えるほか、イベントの通知メールを携帯電話で受け取ることも可能です。

- システムの拡張性、柔軟性

- ・ 数万から数百万という大規模なユーザ管理が可能であり、同時に多種多様なカレンダーを使った情報サービスを提供することができます。ハードウェアの増強により、大規模システムにも対応可能な設計になっています。
- ・ 専用のテンプレート・エンジンを備えており、カレンダーの色やレイアウト、メニューの配置などを自由自在に変更することができます。
- ・ XMLやCGIによる標準のインターフェイスを備えているため、他のアプリケーションやデータベースとの連動を行うことが可能です。

- 国際化に対応

- ・ タイムゾーン（国・地域）の設定により、イベントやスケジュールの時間を自動的に各地域の時間に換算する時差調節機能を搭載しています。
- ・ 各国語に対応できる国際標準の文字コード体系「UTF-8」を採用しており、個々のユーザごとに言語を切り替えて使うことが可能です。

2. 『M1』の販売について

インターネットを使った会員制のサービスを実施している企業や、全社レベルでのスケジュール管理や企業情報ポータル構築に取り組む中規模以上の企業を主なターゲットとするほか、システム運用を含めた ASP（アプリケーション・サービス・プロバイダー）型のサービスにより、SOHO（スモール・オフィス/ホーム・オフィス）などの小規模な利用形態にも対応してまいります。

<コンシューマ向けサービス例>

- ・ インターネットによる各種イベント情報の配信
- ・ 会員制サービスにおけるオンラインカレンダー機能の提供
- ・ 教育機関等の生徒向けの時間割配信、教師のスケジュール管理
- ・ オンラインショップにおける特売情報などの配信サービス など

<企業内利用例>

- ・ 社員のスケジュール管理、プロジェクト毎のスケジュール管理、部署単位あるいは全社レベルでのスケジュール配信を含めた「企業情報ポータル」の構築
- ・ SOHO など離れたオフィスでのコラボレーション業務のスケジュール管理
- ・ B to B マーケットにおける納期管理など

[標準価格]: ソフトウェア・ライセンス一括で 500 万円から（用途、ユーザ数による）
システム運用を含めた ASP は月額 50 万円から

[適用環境]: オペレーティング・システム = Solaris 7 または 8
データベース管理システム = Oracle 8i または 9i

株式会社テクノウイングの概要

<設立> 2001年2月

<資本金> 2億4,900万円(2002年3月1日現在)

<社員数> 16人(同)

<株主> テラコーポレーション、NTTデータ、毎日新聞社ほか

<事業内容> 米国のベンチャー企業が開発した最先端の情報技術(IT)を日本向けに改良して販売。さらにアジア地域へのリセール事業を含め、世界と日本の情報技術を結びつける「テクノロジー・インテグレータ」を標榜する。現在、カレンダー・システムの『M1』を日本国内で販売するほか、オフィスや自宅のパソコンを遠隔地のパソコンや携帯電話から利用できる次世代のリモート・アクセス・ソフト『FirePass』(米uRoam社が開発)の日本語版をまもなく販売開始する。

[本件に関するお問合せ先]

(株)テクノウイング マーケティング担当 岡田、坂口

Tel : 03-3500-3346 Fax : 03-3500-3348

E-mail : sales@techowing.com

URL : <http://www.techowing.com>
